
令和7年度

ニュージーランド海外研修

報告書



グレイマウス高校門

研修期間 令和7年7月28日～8月 7日

令和7年9月 8日～9月16日

東京都立多摩高等学校

目 次

卷頭言	2
概要	3
研修旅行における留意点	4
旅行日程表	5
ニュージーランド海外研修－グレイマウス高校短期留学	8
研修プログラム	8
研修報告	13
ニュージーランド海外研修－多摩高等学校留学受け入れ	33
研修プログラム	33
研修報告	39
事前アンケートから	47
ニュージーランド海外研修参加生徒アンケートの結果と考察	49
ニュージーランド海外研修関係者アンケート	52
参加生徒ポスター	55

Tokyo Metropolitan Tama Senior High School

Overseas Training in New Zealand in FY2025

巻頭言

校長 上村 礼子

Kia ora (キオラ)

多摩高校は、東京都教育委員会から海外学校間交流推進校に指定され、国際理解教育に取り組んでいます。そして、海外学校間交流推進校の取組の一環として、令和5年度にニュージーランドのグレイマウス高校との姉妹校締結を結びました。ニュージーランドのグレイマウス高校は本校と同じく大正12（1923）年に開校し、令和5年度に創立100周年を超える創立102年となる地域に根差した歴史のある学校です。

グレイマウス高校の生徒さんとは、これまででも英語の授業の中でオンライン交流をしてきましたが、いよいよ、本校の生徒がグレイマウス高校で授業に参加する短期海外研修がスタートしました。

ニュージーランド短期海外研修の目的は以下のようになっています。

(1) 令和5年度に姉妹校締結を行った、ニュージーランドのグレイマウス高校において、現地の生徒とともに授業に参加することで、グローバルマインドの育成を図る。

(2) ニュージーランド グレイマウス市の校外学習を通して、グレイマウス市の地域産業や、アボリジニの歴史、文化に触れる体験をすることで、国際的な視野をもった思考ができる人間性の育成をする。

(3) 現地校の生徒や教職員、地域の方々へ日本の文化を紹介することを通して国際交流を行うことで、多様な価値観を理解し、自分の考えを表現できる力を育成する。

海外に関心をもち、コミュニケーションしようとする意志がある生徒を対象とした本プログラムは、参加する生徒が全力で取り組み、楽しみ、大きく成長することを期待して実施しました。また、9月にはおよそ10日間、グレイマウス高校の生徒2名と副校長先生が来校しました。第2学年の2クラスで、文化祭に向けた準備や文化祭をグレイマウスの生徒とともに行う中で、国際交流を行いました。参加した生徒のアンケート結果からは、3つの目的が概ね達成されたことが示唆されました。

本プログラムの実施にあたっては、公益財団法人青梅佐藤財団様、裏宿町自治会、都立多摩高校同窓会梅窓会様のご支援を賜りました。心よりお礼申し上げます。

青梅市グレイマウス高校と都立多摩高校の絆が、今後も引き続きつながり、発展することを祈念し、結びの言葉といたします。

キ
ア
オ
ラ
キ
ア
オ
ラ
Kia ora

概 要

1 目 的

- (1) 令和5年度に姉妹校締結を行った、ニュージーランドのグレイマウス高校において、現地の生徒とともに授業に参加することで、グローバルマインドの育成を図る。
- (2) ニュージーランド グレイマウス市の校外学習を通して、グレイマウス市の地域産業や、アボリジニの歴史、文化に触れる体験をすることで、国際的な視野をもった思考ができる人間性の育成をする。
- (3) 現地校の生徒や教職員、地域の方々へ日本の文化を紹介することを通して国際交流を行うことで、多様な価値観を理解し、自分の考えを表現できる力を育成する。

2 期 間 令和7年7月28日（月）から8月7日（木）まで 11日間

3 研修先 ニュージーランド・グレイマウス市 グレイマウス高校

4 行 程 1・2日目

成田空港集合→ニュージーランド到着→グレイマウス高校→ホテル宿泊

3日目～9日目

グレイマウス高校にて国際交流 → ホテル宿泊

10・11日目

宿泊先 → ニュージーランド発 → 成田空港解散

5 航空便 往路：ニュージーランド航空 NZ90、NZ543、NZ5832（乗り継ぎ2回）

復路：ニュージーランド航空 NZ5831、NZ74、NZ99（乗り継ぎ2回）

6 参加者 2101 秋葉龍成 2202 浅見大翔（2名）

7 引率者 岡田理加 大原康裕

8 滞在先 SCENICLAND MOTELS 7月29日（火）から8月6日（水）まで

108-110 HighStreet, Greymouth, New Zealand 電話：0800 768 510

ホリデイ イン オークランド エアポート 8月6日～7日

2 Ascot Roads, Auckland, 2150, New Zealand 電話：64-9-2751059

9 病院 Te Nīkau Hospital & Health Centre 71 Water Walk Road Greymouth 7840

研修旅行における留意点

【研修の重点】

- 1 何にでも積極的に取り組み、失敗を恐れない。
- 2 異文化の中で、他人に共感し、他人を理解しようと努める。
- 3 自分の意見を積極的に発信する。
- 4 引率者の指示をよく守り、多摩高生の一員であることを自覚し規律のある行動をとる。

【生活上の心得】

- 1 貴重品は責任を持って管理する。移動の際は忘れ物をしないように留意する。
- 2 決して単独行動をとらない。
- 3 常に引率の先生に報告・連絡・相談を行うこと。
- 4 挨拶はコミュニケーションの基本である。誰に対しても挨拶を大きな声で行う。Yes/No を言い、はっきりと意思表示をする。
- 5 研修期間の意義を理解する。→自由時間以外は携帯電話・ゲームをしない。
- 6 朝起きたら整理整頓しベッドなどを整え部屋をきれいに使用する。
- 7 自分勝手な行動で周りに迷惑をかけないように行動する。
- 8 周りをよく見て、手伝いを必要とする場合、積極的に行動する。
- 9 日誌を毎日つける。
- 10 連絡や指示は必ずメモをとる。
- 11 英語で積極的にコミュニケーションをとる。
- 12 早く寝るなど健康に留意する。

旅行日程表

	月日	場所	時間	スケジュール
1 7/28 (月) ↓ 2 7/29 (火)	成田 オークランド クライストチャーチ ホキティカ ホテル		15:00	成田空港集合（しおり最終ページ参照）
			20:00	出発【ニュージーランド航空 NZ90 便】
			9:25	オークランド空港着 空港待機（昼食をとる） (待ち時間 3 時間 35 分)
			13:00	出発【ニュージーランド航空 NZ543 便】
			14:25	クライストチャーチ空港着 空港待機（待ち時間 1 時間 55 分）
			16:20	出発【ニュージーランド航空 NZ5832】
			17:05	ホキティカ空港着、高校公用車でホテルへ SCENICLAND MOTELS 夕食（夕食後ミーティング・自己紹介・校歌練習） 日記を記入、翌日の登校準備、洗濯、入浴
			22:00	就寝
	7/30 (水)	ホテル グレイマウス高校 ホテル	6:00	起床、朝食（パスポートはスーツケースへ入れる）
			午前	制服に着替え、登校準備（持ち物確認：お土産等）
				徒歩でグレイマウス高校へ
				授業参加（自己紹介する準備をしておく）
			夕方	高校で昼食 ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS 夕食
3 7/31 (木)	7/31 (木)	ホテル グレイマウス高校 ホテル	20:00	ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、翌日の登校準備、洗濯、入浴
			22:00	就寝
			6:00	起床、朝食
			午前	制服に着替え、登校準備（持ち物確認）
				徒歩でグレイマウス高校へ 授業参加
			夕方	高校で昼食 下校、ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS 夕食
			20:00	ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、翌日の登校準備、洗濯、入浴
			22:00	就寝

5	8/1 (金)	ホテル グレイマウス高校	6:00	起床、朝食
			午前	制服に着替え、登校準備（持ち物確認） 徒步でグレイマウス高校へ
			夕方	授業参加 高校で昼食
			20:00	下校、ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS 夕食 ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、洗濯、入浴
			22:00	就寝
6	8/2 (土)	ホテル 市内	6:00	起床、朝食
			午前	市内観光
			午後	昼食 市内観光
			20:00	ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS 夕食 ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、洗濯、入浴
			22:00	就寝
7	8/3 (日)	ホテル 市内	6:00	起床、朝食
			午前	市内観光
			午後	昼食 市内観光
			夕方	ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS 夕食 ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、翌日の登校準備、洗濯、入浴
			22:00	就寝
8	8/4 (月)	ホテル グレイマウス高校	6:00	起床、朝食
			午前	制服に着替え、登校準備（持ち物確認） 徒步でグレイマウス高校へ
			夕方	授業参加 高校で昼食
			20:00	下校、ホテルへ移動 SCENICLAND MOTELS
			22:00	就寝

			20:00	夕食 ミーティング・プレゼン作成 日記を記入、翌日の登校準備、洗濯、入浴
			22:00	就寝
9	8/5 (火)	ホテル グレイマウス高校	6:00 午前 午後 夕方 20:00	起床、朝食 制服に着替え、登校準備（持ち物確認） 徒歩でグレイマウス高校へ 授業参加 高校で昼食 ホテルへ移動 夕食 ミーティング 日記を記入、洗濯、入浴 帰国準備（忘れ物がないようよく確認する）
		ホテル	22:00	就寝
10	8/6 (水) ↓ 8/7 (木)	ホテル ホキティカ クライストチャーチ オークランド 成田	4:30 6:00 9:50 10:30 18:00 20:10 21:35 22:00 6:30 7:30 10:15 18:15	起床、整理整頓（パスポートなど貴重品確認） ホテル出発、ホキティカ空港へ 出発【ニュージーランド航空 NZ5831】 クライストチャーチ空港着 市内観光（昼食） （待ち時間 9 時間 40 分） 空港へ戻る 発【ニュージーランド航空 NZ0574 便】 オークランド空港着 タクシーでホテルへ ホテル宿泊 就寝 ホリデイ イン オークランド エアポート （待ち時間 12 時間 40 分） 起床・出発準備（パスポートなど貴重品確認） ホテル出発、タクシーで空港へ 発【ニュージーランド航空 NZ0099 便】 成田空港着 空港（帰国出口）にて解散、各自で家庭へ帰宅

ニュージーランド海外研修－グレイマウス高校短期留学

日 程 令和7年7月28日（月）から8月7日（木）まで

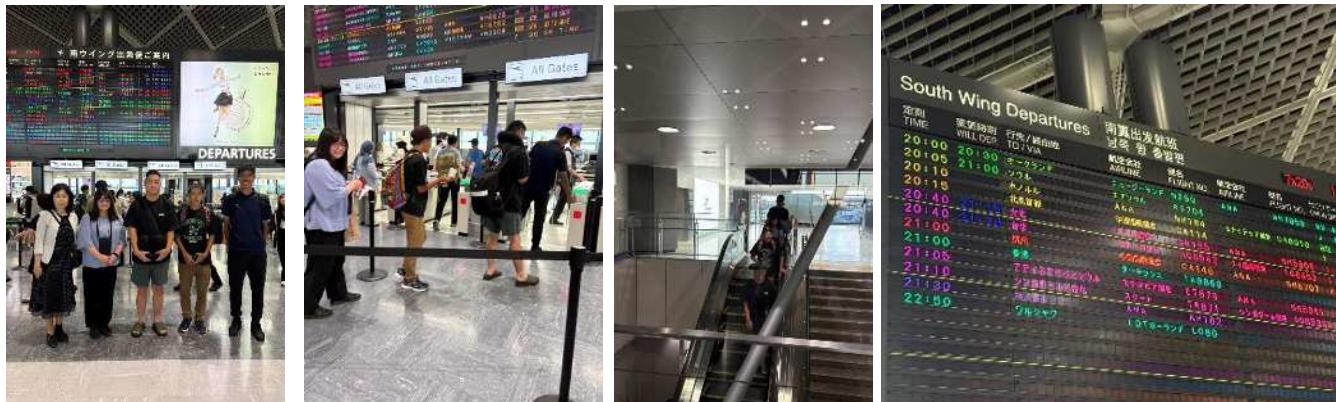
参 加 派遣生徒 2年1組1番 秋葉龍成
2年2組2番 浅見大翔

引率教員 地歴科 3学年 大原康裕 主幹教諭
英語科 2学年 岡田理加 教諭

研修プログラム

7月28日（月）

- 15:00 成田空港 集合
20:30 成田空港 出発 ニュージーランド航空 NZ90便
(以下 ニュージーランド時間)



成田空港出発

7月29日（火）

- 09:25 オークランド空港 到着
13:00 オークランド空港 出発
14:25 クライストチャーチ空港 到着
16:20 クライストチャーチ空港 出発
17:10 ホキティカ空港 到着
18:40 校長先生と夕食会



冬のホキティカ空港に到着

7月30日(水)

- 09:45 グレイマウス高校 登校
10:00 グレイマウス高校による歓迎式
校内見学
13:00 技術（金属加工） 授業参加
14:00 家庭（調理） 授業参加
15:30 グレイマウス高校バスケットボールクラブの活動見学



技術科（鉄素材でミニボックスを作成）



家庭科（チーズやベーコン入りの
スコーンを調理）

7月31日(木)

- 08:45 グレイマウス高校 登校
09:00 心理学（ストループ効果検証） 授業参加
11:00 シャンティタウン 見学
14:00 音楽 授業参加



心理学（ストループ効果検証）



シャンティタウンでの砂金取り体験



8月1日（金）

- 08:25 グレイマウス高校 登校
10:00 グレイマウス市長 表敬訪問
10:30 ポウナムバスウェイ（博物館）見学
13:00 観光学 授業参加
17:15 グレイマウス高校バスケットボールクラブの活動見学



右下グレイマウス市長 左上サマンサ校長先生



グレイマウス高校の生徒と博物館訪問

8月2日（土）

- 10:00 グレイマウス市内 農場見学
12:30 ポロラリ川 カヤック体験
15:30 プナカイキ パンケーキロックス 散策



羊の大牧場



羊の餌やり体験



鹿の角と加工品



カヤック体験



パンケーキロックス見学

8月3日（日）

10:00 ホキティカ市 キーワイセンター（キーワイ保護園・水族館） 見学

13:00 ホキティカ渓谷 ハイキング



キーワイセンター訪問



ホキティカ渓谷ハイキング

8月4日（月）

08:45 グレイマウス高校 登校

09:00 数学（積分） 授業参加

10:00 家庭（調理） 授業参加

13:00 体育（球技） 授業参加

14:00 美術（版画） 授業参加



数学（積分）



体育（バレーボール）



家庭科（シュークリームづくり）



美術科（版画）



8月5日（火）

08:45 グレイマウス高校 登校
09:00 数学（図形） 授業参加
10:30 ブルナー湖 散策
15:00 研修の振り返り、レポート作成



数学（現地校の生徒とともに）



ブルナー湖見学（左サマンサ校長先生）

8月6日（水）

08:15 ホテル 出発
09:00 ホキティカ空港 到着
09:50 ホキティカ空港 出発
10:30 クライストチャーチ空港 到着
11:00 國際南極センター 見学
14:00 カンタベリー博物館 見学
15:00 クライストチャーチ公立図書館 見学
15:30 カンタベリー植物園 見学
17:30 クライストチャーチ空港 到着
20:10 クライストチャーチ空港 出発
21:35 オークランド空港 到着
22:30 ホテル 到着

8月7日（木）

07:30 ホテル 出発
10:15 オークランド空港 出発 NZ99
(以下 日本時間)
18:15 成田空港 到着
19:15 保護者と合流 解散

研修報告

7月28日（月曜日）1日目

ついに多摩高校初の海外研修、いよいよ出発

ニュージーランド海外研修がついに始まります。生徒2人とも海外は初なので、緊張している様子でしたが、期待に胸をふくらませていました。チェックイン後、出国審査を行い、無事出発できました。

最初のフライトである、成田空港からオークランド空港は約10時間、午後8時出発予定が、午後8:30分出発に予定変更になりましたが、特に不安もなく出発しました。機内では、多くの外国人乗客、機内食で、初めての経験ばかりでした。

7月29日（火曜日）2日目

移動のみで丸1日、そして、校長先生と初対面

オークランド空港に到着後は、入国審査と預けた荷物の受け取りと意外と大変でした。次は、国内線への乗り継ぎです。国際線ターミナルと国内線のターミナルは無料バスで移動できるのですが、当日は強風と大雨、バス停に行くまで、とても苦労しました。空港内で昼食をとり、午後1時にオークランド空港を出発。1時間半のフライトで、午後2時25分にクライストチャーチ空港に到着、とても大きな空港で、生徒たちはとても驚いていました。少しの休憩後、午後4時20分にクライストチャーチ空港を出発、いよいよ、グレイマウス市に一番近い、ホキティカ空港へ。午後5時10分にホキティカ空港に到着し、雨の中、グレイマウス高校の先生がお迎えをしてくれました。その後、ホテルへ移動、午後6時40分にサマンサ校長先生が夕食会に迎えに来てくださいり、初の対面、これから始まる研修に期待が膨らむばかりでした。近くのレストランで、校長先生と娘さん（グレイマウス高校の先生でもある）と夕食をとり、日本からニュージーランドまでの旅の話や情報交換をしました。



校長先生との夕食会



7月30日（水曜日）3日目

グレイマウス高校の生徒による歓迎式、初授業

グレイマウス高校の生徒と先生方による歓迎式で1日がスタート。マオリの伝統の儀式では、マオリの歌を歌ってくれました。お互いに歌を歌うのが習わしで、こちらは、多摩高校の校歌を披露しました。その後、マオリ伝統の挨拶（2人が鼻と鼻をくっつけ合い、額を軽く触れ合わせることで、お互いの「ハ（生命の息吹）」を交換し、一体となることを意味します）をして、記念品を贈呈しました。どれも初めての経験で、まさに外国の文化や生活習慣を体験し、異文化を理解する一瞬でした。お土産は、日本伝統のもの（風鈴、けん玉、だるま落とし、扇子、うちわ、手ぬぐい、お菓子など）を渡し、現地校の生徒の皆さんにとても喜んでもらってよかったです。

歓迎式の後は、校内見学で、9月に日本に研修で来る現地校のマークさんとジェーソンさんに案内してもらいました。日本とは全然違う校舎や授業に驚きの連続でした。小学生や中学生もいるので、廊下ですれ違う時に、明るく挨拶をしてくれる生徒、グータッチをしてくれる生徒、日本語の「こんにちは」で挨拶をしてくれる生徒、先生方も気軽に声をかけていただき、これからの学校生活がとても楽しみになりました。

午後は、技術の授業で、なんと担当の先生は、日本の高校でも教えていたことあり、日本語がとても上手でした。生徒たちも、初めての授業でしたが、とてもスムーズに参加することができ、積極的にとりくんでいました。金属加工の授業で、材料の鉄素材を加工して、ミニボックスをつくるというものでした。現地の生徒は、中学生年代でしたが、とても手際が良く、多摩高校の生徒は、慣れない作業や大きな機械に戸惑っていましたが、現地校の生徒に教えてもらいながら、なんとか完成させていました。

もう1時間は、家庭科の授業で、チーズやベーコン、野菜を使ったスコーンづくりでした。多摩高校の生徒の一人は、料理が趣味で、将来は調理師を目指しているので、とても興味をもって授業に参加でき、楽しく調理できました。授業後は、自分から担当の先生に話しかけ、レシピを確認していました。



グレイマウス高校での歓迎式（マオリの伝統儀式）



校長先生・代表生徒と記念写真



在校生によるスクールツアーア



技術科（金属加工）



家庭科（スconeづくり・生地をつくる）



技術科（金属加作品）



家庭科（焼け具合の確認）



完成を喜ぶ2人

7月31日（木曜日）4日目

授業参加2日目とシャンティタウン見学

昨日に引き続き授業参加、心理学の授業では、ストループ効果について、グループワークを通して学習しました。英語での説明や、現地校の生徒の発言を聞き取るのが難しかったですが、理論の検証自体は、ニュージーランド人でも日本人でも同じで、生徒たちは、学びや気づきの連続でした。

お昼前後に、現地校の先生と生徒の案内で、ニュージーランド西海岸の発展の歴史を学ぶために、シャンティタウン・ヘリテージパークを訪れました。1900年代の開拓を再現した街並みを再現したアトラクション・公園で、生徒たちは、現代とは異なる建物や文化に触れ、とても興味深く見学できました。また、施設内にある蒸気機関車に乗り、原生林の奥深いところまで移動し、開墾や木材・石炭の移動等の再現を見て、いかに開拓が困難だったかということを感じていました。当時の開拓の目玉である砂金取りの体験もしました。生徒は自分で取った金を見て、とても喜んでいました。

午後に、学校に戻り、音楽の授業に参加しました。ピアノやウクレレなどの楽器演奏を体験し、現地校のマークさんの見事なピアノ演奏には驚きました。日本に来た時には、ぜひ演奏してほしいです。



シャンティタウン入り口



開拓時の蒸気機関車の乗車体験



砂金取り体験



町から山頂までの往復

8月1日（金曜日）5日目

グレイマウス市長表敬訪問と博物館見学

グレイマウス市長表敬訪問のため、学校から車で約5分の市役所を訪れました。市長室で、グレイマウス高校と多摩高校が姉妹校であることや交換留学（今回の研修）について、自己紹介などを行いました。市長さんには忙しいところ、丁寧に対応していただき、ありがとうございました。

市役所をあとにして、ポウナムパスウェイ（博物館）に見学に行きました。この博物館では、ニュージーランドの歴史、特にマオリの歴史やヒスイ（ポウナム）について学びました。生徒たちは、マオリとは何か、初めて見るヒスイにはどういう意味があるのかを、展示や映像を通して学びました。

午後は、「ツアーリズム（観光）」についての授業に参加しました。ニュージーランドと世界の観光地について、グループワークを通して学習しました。ニュージーランドの観光地は、現地校の生徒に教えてもらい、各地の写真をよく見ていました。世界の観光地は、知っている場所もあり、特に日本の富士山は、自信をもって紹介できていました。



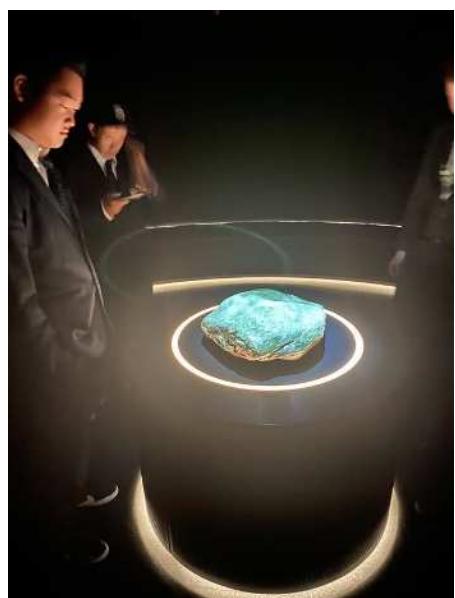
グレイマウス市長との対談



グレイマウス市長と記念写真を撮影



グレイマウス市役所



ポナウム博物館（ヒスイの原石）



マオリの特大模型



ポナウムの原石



博物館見学と一緒に来てくれた生徒たちと撮影



博物館近くのグレイ川にある見晴台で撮影



観光学（ツアーリズム）



8月2日（土曜日）6日目

農場見学とカヤック体験

現地校の先生とともにグレイマウス市内の農場を見学しました。グレイマウス高校の卒業生と家族の皆さんのが経営する農場で、その広さに生徒たちは驚きを隠せませんでした。到着早々、牧羊犬が出迎えてくれて、家族の皆さんにも歓迎していただきました。最初に、飼育している鹿の角を見せてくださいました。生徒たちは、鹿の角を実際に持つて見て、鹿の角の見た目、感触、重さなど感じることができ、貴重な経験をさせてくれました。角の特定の部分は、サプリメントとして加工され、各国に輸出されていることも教えてもらいました。その後、農場を車で案内してくださり、羊の農場では、餌やりの体験をさせてください、餌を欲しがる羊や人懐っこい羊に生徒たちは、とても喜んでいました。また、羊の毛の感触も実際に触れることで、羊の種類や年齢によって違うことが分かりました。

午後は、ポロラリ川でカヤック体験をしました。カヤックを漕ぐのは、最初こそ慣れずに難しかったですが、すぐに慣れて、川の上流へとどんどん進むことができ、とても充実した体験になりました。途中、流れが厳しいところがあり、一回カヤックを降りた際、冬の川の水はとても冷たかったですが、ニュージーランドの大自然を体全体で感じました。

ホテルに戻る途中で、西海岸で有名な観光地の一つ、プナカイキ（街の名前）のパンケーキロックス（硬い石灰岩とやわらかい砂岩が波によって浸食された独特の風景）を散策しました。



牧場での羊飼育体験



ポロラリ川での
カヤック体験



パンケーキロックス

8月3日（日曜日）7日目

キーウィセンター見学とホキティカ渓谷ハイキング

現地校の先生の案内で午前中はキーウィセンターを見学。キーウィはニュージーランドの国鳥でとても貴重な存在です。野生でもほぼ見られず、人の手で飼育している場合もあります。夜行性で、夜の環境をつくり、静かに観察する必要があり、当然、写真撮影は禁止です。生徒たちは、幸運にも起きている時間帯に見学できたため、活動しているキーウィを観察することができました。センターには、水辺の生物の生態についても見学でき、特に、印象的だったのは、うなぎの餌やり体験とザリガニ釣りでした。日本のうなぎよりもはるかに大きく太かったので、生徒たちも驚いていました。

午後は、ホキティカ渓谷のハイキングでした。渓谷はターコイズブルーの水がとても美しく、生徒たちも「なぜ水の色が青いのか」という疑問をもつほどでした。原生林に囲まれた遊歩道を歩いていくと、つり橋や岩場などもあり、険しい道を進んでいくと、川の上流のすばらしい景色を見るることができました。



ウナギの餌やり体験

ザリガニ釣り体験



ホキティカ渓谷ハイキング



ターコイズブルーと絶景

8月4日（月曜日）8日目

1日授業参加

午前8時45分にグレイマウス高校に登校し、現地校の生徒と一緒に一日、授業に参加しました。多摩高校の生徒たちも、自分から積極的に話しかけるなど、研修のはじめのころよりも英語でもコミュニケーションをとる機会が増えました。

1限は数学で内容は積分でした。まだ、学習していない範囲でしたが、現地校の先生や生徒に教えるべきながら、問題を解いていきました。

2・3限は、家庭科の調理で、ミニシュークリームを作りました。とても難しそうでしたが、きちんとレシピ通りにつくることができ、とてもおいしく仕上りました。

4限は体育でバレーボールを中心に取り組みました。ニュージーランドでは、バスケットボールは盛んに行われていますが、バレーボールはほとんど取り組まないようです。多摩高校の生徒は、日ごろの体育の授業の成果を出せました。

5限は美術で版画を作成しました。題材は、中庭の木々の葉を使用してデザインするもので、どの葉にするかによって作品が全然違うものになり、また、どう葉を置くかによってもデザインが変わるので、生徒たちはみんな試行錯誤していました。



数学（積分）



シュー生地の絞り出し



コーティングするチョコづくり



チョココーティング

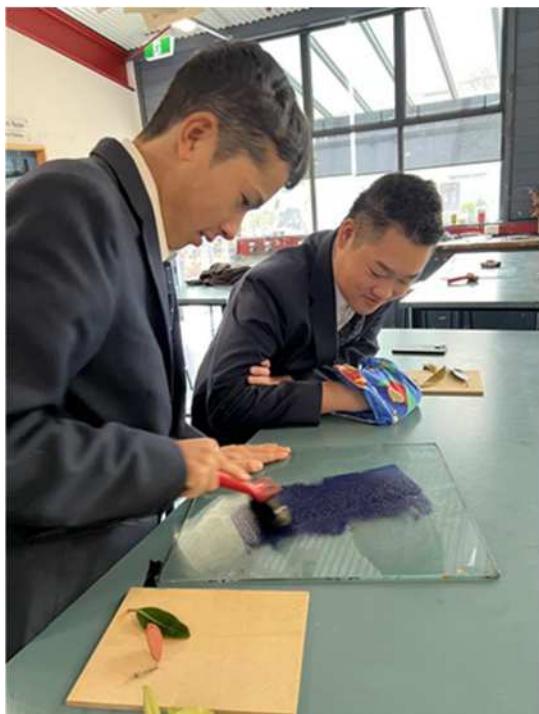


パッケージング

家庭科



体育（バレーボール）



美術（版画）



完成作品

8月5日（火曜日）8日目

授業参加最終日

今日で、グレイマウス高校の授業参加は最終日となります。1限は、数学の図形の授業で、曲線とX軸とY軸に囲まれた範囲の面積を求める公式を自分で確かめ、その公式で演習をしました。生徒たちは、最初はやり方が分かりませんでしたが、現地校の先生や生徒とのやり取りで、解き始めることができました。2限は、化学の授業で、化学に関する法則の説明でした。生徒とボールを物質にみたてて、結合と分離のロールプレイングをしました。日本に帰ってから、化学の先生に質問しようと話をしました。

お昼前に時間から、校長先生の案内のとも、ブルナー湖に訪れ、昼食後、ブルナー湖の湖畔を校長先生と散策をしながら、今回の研修について、いろいろお話をすすることができました。研修を通して、校長先生とお話をすする機会が多くだったので、最後に全員で写真を撮ることができ、生徒たちは充実した面持ちでした。



数学（積分　問題演習）



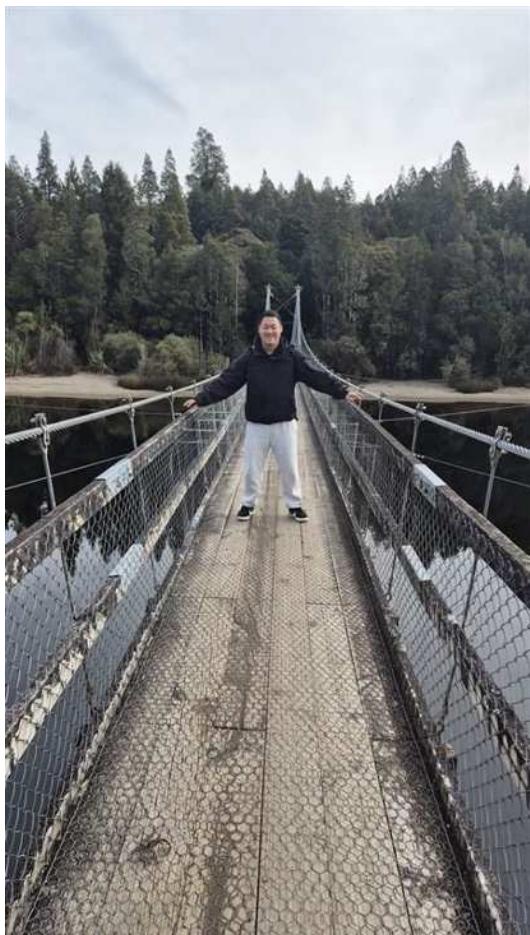
化学



ブルナー湖散策・フォトスポットでの撮影



ブルナー湖



大吊橋



校長先生と記念写真撮影

THE WEST COAST Messenger
Wednesday, August 15, 2023
FREE

Japanese school relations blossom

By Adriana Stevens

Visitors from Tokyo's Nittoku Kai High School spent a week in Canterbury recently, as part of a exchange program for a student exchange trip to get innovative ideas and experiences from New Zealand. Staff and visitors from Lake Brunner High School welcomed the four visitors to Brunner with a powhiri when they arrived.

They joined classes during their week in the Country, including music, cooking and art, as well as sports, including soccer. They also visited the Waitaki River, the Port Hills and Lake Pukaki before spending some more time in the classroom last week.

Principal Heslo Ramahe approached the Japanese school last year about the possibility of linking up through a sister schools agreement.

Over the weekend the Japanese visitors enjoyed a day trip to the Waitaki Valley, including a visit to the Waitaki River, the Port Hills and Lake Pukaki before spending some more time in the classroom last week.

Principal Heslo Ramahe approached the Japanese school last year about the possibility of linking up through a sister schools agreement.

Gray High students Mark Morrison and Jason McCrae, alongside deputy principal Jason, will be returning to Japan for two weeks next month after spending most of their time with their families at Tsuru High School before having three days to take a break in Tokyo at the end of the trip.

現地新聞の掲載記事

8月6日（水曜日）9日目

ついにお別れ、日本へ帰国の途に就く

今日でグレイマウスとはお別れです。ホテルをチェックアウトした後、グレイマウス高校の校長先生と副校長先生とお別れの挨拶をしました。お礼とまだグレイマウス高校にいたかったと伝えると、先生方はとても喜んでくれました。

ホキティカ空港を午前9時50分に出発し、クライストチャーチ空港に午前10時40分に到着、空港近くの国際南極センターを見学しました。南極をテーマにしたアトラクションが多数あり、体験を通して、南極の自然について深く学ぶことができました。昼食後、市内に出て、カンタベリー博物館、公立図書館、カンタベリー植物園を見学、西海岸とは違う都会の雰囲気を味わいました。クライストチャーチ空港に戻り、夕食後、午後8時15分に出発、午後10時過ぎにオークランド空港に到着、ホテルで一泊しました。



南極観測車前で記念撮影



コウテイペンギンの体長と比較



スノーモービル





南極の温度体験



カンタベリー博物館



クライストチャーチ市内



クライストチャーチ公立図書館



カンタベリー植物園

8月7日（木曜日）10日目

無事、成田空港到着。研修終了

午前10時15分にオークランド空港を出発。約11時間のフライトを経て、成田空港に到着。ニュージーランドの現地時間では午後9時過ぎ、日本の時間では午後6時過ぎに到着。保護者と合流すると、生徒たちは長旅の疲れを感じさせず、ニュージーランドの話が尽きませんでした。この10日間は、高校生活の中でも人生に大きな影響を与えると確信できる出会いと体験ができました。9月にグレイマウス高校の生徒さんが来校し、ホームステイも実施します。ぜひ、日本の文化や学校について紹介し、グレイマウス高校の生徒さんにも記憶に残る体験をしていただきましょう。



オークランド空港（保安検査～搭乗口）

ニュージーランド海外研修－多摩高等学校留学受け入れ

日程 令和7年9月10日（水）から9月16日（木）まで

参加 グレイマウス高校 留学生・引率教員 Jason McCracken
Mark Morrison
Ian Johnson (Vice Principal)

多摩高校側受け入れ 秋葉さん（本校生徒）御家族
渡部さん（青梅市裏宿町）御家族

研修プログラムの概要

9月10日（水）

- 11：00 東京都立多摩高等学校 到着
12：30 教職員紹介
13：30 ホームルーム紹介
16：00 青梅市長 表敬訪問
18：00 夕食会



ウェルカムボード前で記念撮影

職員紹介



ホームルームでの自己紹介



青梅市長 表敬訪問



青梅市議長訪問（議会場にて）



議会場体験



和食体験（蕎麦）

9月11日（木）

- 08:35 多摩高校 登校
- 08:50 授業参加（文化祭準備）
- 14:00 日本文化体験（折り紙、書道）
- 19:00 夕食会（回転寿司）

ホームルームで
文化祭準備





日本文化体験（書道）



日本文化体験（折り紙）

9月12日（金）

- 08：35 多摩高校 登校
08：50 文化祭（校内）1日目 参加
15：00 日本文化体験
16：00 課題研究交流
16：30 下校



課題研究交流（ホタル研究発表と質疑）



日本文化体験（草木染 絞り染め）

9月13日（土）

08:35 多摩高校 登校
08:50 文化祭（一般公開）2日目 参加
11:40 日本文化体験（お囃子 鑑賞）
15:00 後夜祭 参加
16:00 Farewell Party
17:00 下校



日本文化体験（茶道）



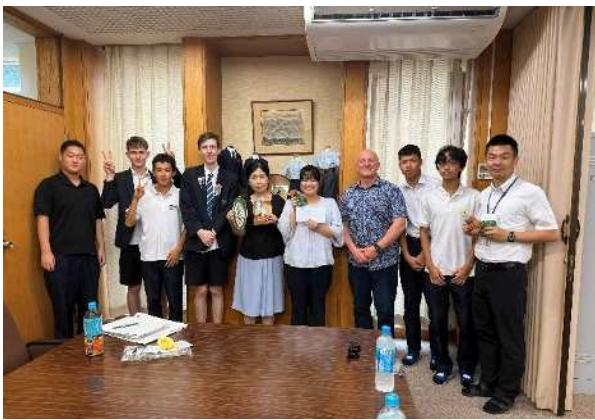
日本文化体験（裏宿町 お囃子体験）



2-2 ホームルームでの記念写真



2-1 のホームルームに色紙をプレゼント



Farewell Party



日本文化体験（書道 多摩高校へメッセージ）

9月14日（日）

- 09:00 青梅駅集合
- 10:30 小河内神社
- 12:00 奥多摩湖（小河内ダム）水と緑のふれあい館 見学・昼食・お土産購入
- 14:00 奥多摩駅行きのバス乗車
- 15:00 奥多摩ビターセンター見学
- 17:00 青梅駅解散



奥多摩湖



9月15日（月）

08:00 青梅駅 集合
10:30 日本科学未来館 見学
14:00 日本科学未来館 解散



日本科学未来館 ナナイロクエスト



日本科学未来館 ドームシアター

9月16日（火）

09:00 青梅駅 集合 ホームステイファミリーの見送り



ジェーソンさんと渡部さんご夫婦



イアン先生と秋葉さん親子

研修報告

9月10日（水曜日）1日目

Welcome to Tama high school !!

はるばるニュージーランドから留学生であるジェーソンさんとマークさんの2人、引率のイアン先生が、日本の東京都立多摩高等学校にやってきました。前日に成田空港に到着し、上野で1泊、10日（水）の11時に本校に到着しました。到着後は、上村校長と歓談した後、早速、校内見学。7月8月にニュージーランドに留学した秋葉さんと浅見さんの案内のとも、多摩高校の教室や施設を見学しました。

お昼には、職員室で教職員を紹介。多くの教職員の前での、自己紹介は緊張している様子でした。その後、マークさんは秋葉さんと2年1組へ、ジェーソンさんは浅見さんと2年2組の教室へ移動。それぞれのクラスのみんなは、ニュージーランドからの留学生を温かく迎えました。

放課後は、青梅市長に表敬訪問をするために青梅市役所へ。普段は、見られない議場を特別に見学、青梅市長と青梅市教育長と記念写真を撮影しました。

夕食は、多摩高校の教職員と一緒にお蕎麦をいただきました。慣れない箸も、なんとか使いこなし、日本の伝統を感じながらの食事会となりました。



歓迎 グレイマウス高校のみなさん



秋葉さん・浅見さんによる校内紹介



青梅市長よりお土産を頂きました

9月11日（木曜日）2日目

多摩高祭準備日・日本文化体験

2日目は、それぞれのホームステイの家から登校し、1日学校で過ごしました。午前中は、各ホームルームの生徒と多摩高祭の準備を行いました。マークさんは2年1組の生徒と一緒に、クラス企画のフォトスポットの教室内の装飾の仕事に取り組みました。風船を膨らませたり、小道具づくりを多摩高校の生徒から教えてもらい作業しました。英語でのコミュニケーションは、多摩高校の生徒は授業以外では、ほぼ初めてなので、慣れない英語で緊張している様子でした。時間が経つにつれ、身振り手振りなどで教え合うなど、打ち解けている様子でした。ジェーソンさんは、2年2組のクラス企画の『スパムおにぎり』の準備をしました。写真は中庭で2組の担任の先生と生徒と一緒に装飾の準備をしている様子です。

午後は、校長室で日本文化体験（玉ねぎ染め、折り紙、書道）をしました。玉ねぎ染では、事前に集めておいた玉ねぎの皮を細かくちぎり、黄色の染色液を煮出しました。白い布に思い思いの場所をしぶりをいれ、どんな模様になるのか楽しみにしている様子でした。上村校長、生徒会の生徒と一緒に取り組みました。書道体験では、墨をすることや筆で書くことなど、初めての体験で、筆遣いなど、とても苦労していました。静かな雰囲気の中で、多摩高校の教員から教えてもらいながら何回も練習しました。



マークさんと2年1組の生徒たち



ジェーソンさんと2年2組の生徒たち



玉ねぎの皮をちぎる



書道体験 練習風景



ホームステイのご家族とその友達に折り紙を教えてもらいました

多摩高祭（1日目）・日本文化体験（昨日の続き）

多摩高祭のオンラインによる開会式で、グレイマウス高校からの留学生2人を紹介し、全校生徒からの歓迎を受けました。留学生の2人は全校生徒に向けて、練習してきた日本語でのあいさつをしました。

その後、各クラスの生徒と一緒に、各企画を見学・体験し、お土産もたくさんもらっていました。飲食の企画では、焼きそばやお好み焼きなど、ニュージーランドでは見られない食事も体験し、とても楽しんでいる様子でした。午後は、日本文化体験で、多摩高校にメッセージを色紙に書道で書きました。とても初めてとは思えない出来栄えでした。ホタルの研究をしている生徒の発表を通じた交流も行いました。



文化祭の開会式で全校生徒へあいさつ



多摩高校のみんなに書道でメッセージ



日本文化体験（草木染 絞り染め）



日本文化体験（茶道 茶道の先生方と）



2年五味さんの研究発表（ホタルの研究での交流）



制服を交換して試着



ホームステイファミリーとのひととき

ホームステイファミリーと日本のスーパー体験

9月13日（土曜日）4日目

多摩高祭2日目・Farewell Party

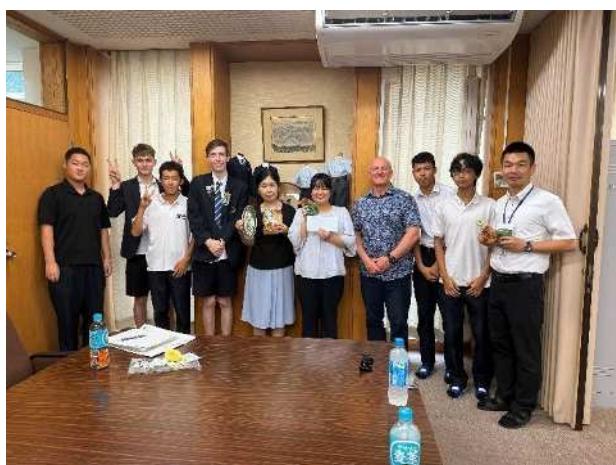
昨日に引き続き、多摩高祭2日目を見学・体験しました。本日は、青梅市裏宿町の地域の皆様によるお囃子体験もあり、日本文化体験の一つとなりました。こちらも、ニュージーランドのみなさんにとっては、初めての鑑賞で、珍しい経験となり、写真を撮っていました。午後3時からは後夜祭があり、体育館で生徒・教員によるバンド音楽を見学し、多摩高校でのプログラムを終了しました。最後は、校長室でFarewell Partyを行い、7・8月にニュージーランドに短期留学した秋葉さんとそのご家族・浅見さん、ホームステイ先でお世話になった渡部さんご家族にプレゼントを渡しました。



日本文化体験（裏宿町　お囃子）



日本文化体験（裏宿町　お囃子　体験）



Farewell Party プレゼントの交換



浅見さんとジェーソンさん



日本文化体験（お土産を風呂敷で包む）



Farewell Party でなごやかに談笑

9月14日（日曜日）5日目

奥多摩湖ツアー

9：00 青梅駅集合 ↓ 奥多摩駅行きの電車に乗車

9：40 奥多摩駅着 → バスへ乗り換え

10：30 麦山の浮橋（ドラム缶橋）着 渴水によって見ることしかできなかったため近くにあった小河内神社を見学

小河内ダム完成のために水没した旧小河内村に伝わる獅子舞や神事を見学

12：00 奥多摩湖（小河内ダム）へ移動

奥多摩 水と緑のふれあい館 見学とランチとお土産

奥多摩湖散策 展望台見学

※小河内神社に伝わる獅子舞がここにも登場

14：00 奥多摩駅行きのバスへ

15：00 奥多摩駅付近を散策

奥多摩ビジターセンター見学

16：00 青梅駅行き電車に乗車

17：00 青梅駅にて解散



奥多摩湖ツアー

9月15日（月曜日）6日目

お台場・日本科学未来館見学

本日は、秋葉さんとその家族とみんなでお台場にある日本科学未来館に見学に行きました。日本の最先端技術に触れるとともに地球の未来について考える機会としました。青梅からお台場は、東京を横断し、さらに、ニュージーランドにはないモノレール（ゆりかもめ）に乗り、都心部を抜け、臨海地区にやってきました。到着後は、最新の技術を体験するということで、タブレットを使いながら、未来の都市や社会を人とロボットでよりよくするためにどうしたらよいか、体験型のアトラクション（ナナイロクエスト）に挑戦しました。タブレットを英語版に切り替え、頭や体を使いながら、さまざまなミッションをクリアしていきました。他にも、あらかじめ予約しておいたドームシアターでは、プラネタリウムを鑑賞し、宇宙の成り立ちや太陽系について学びました。鮮明で迫力のある3Dの映像に皆が驚いていました。



ナナイロクエスト



オリジナルパートナーロボット「ケパラン」と会話



ヒーリングロボット体験



未来ゲーム



お台場のガンダムと記念撮影

9月16日（木曜日）7日目

青梅駅でお見送り

青梅駅に9時に集合し、最後のお見送りをしました。ホームステイを受け入れた秋葉さんとご家族や渡部さん夫妻がお見送り来てくれました。わずか6日間のホームステイでしたが、皆さん涙のお別れとなりました。また、日本にぜひ来てください、ニュージーランドにも遊びに行きます。



ジェーソンさんと渡部さんご夫妻



秋葉さんとお母様とイアン先生



再会を誓って



青梅駅前で見送りの集合写真

事前アンケートから

Q：これからニュージーランドへ出発します。海外研修に向けての抱負を記述してください。記述したことについての理由も記述してください。

A 1：人脈を作つてどんな世界でも通用する人になっていきたいです。

A 2：安全第一で勉強したい。

Q：今回、応募の決めてとなった理由について当てはまるものを答えてください。



Q：海外研修の参加を困難にする要素があったら答えてください。



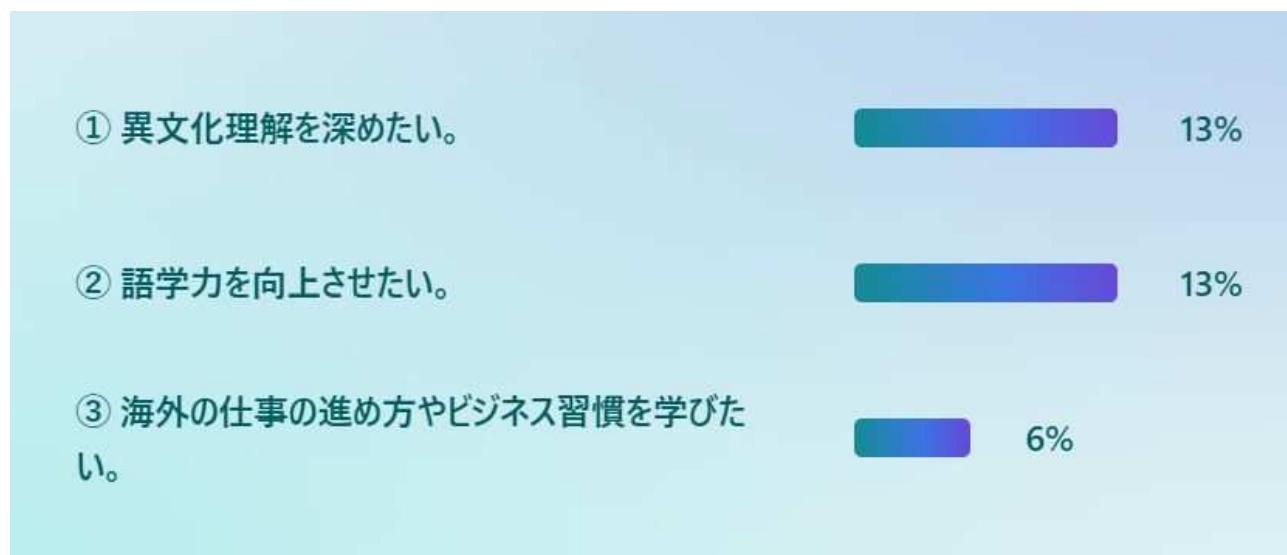
事後アンケートから

Q：ニュージーランド海外研修で自分に変化があったことや感想を記述してください。記述したことについての理由も記述してください。

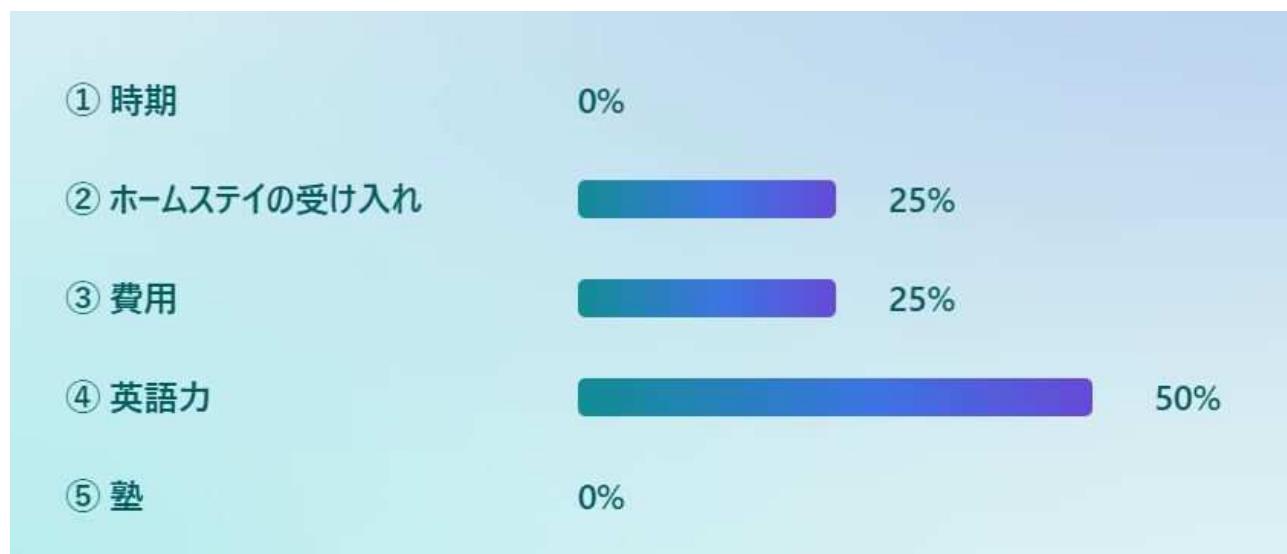
A 1：友達できて良かった！

A 2：海外のことについてさらに知りたくなった。ニュージーランドに行って日本とは違う文化、食、生活について知れて良かった

Q：海外研修に参加して当てはまることについて答えてください。



Q：海外研修の参加を困難にする要素があったら答えてください。



ニュージーランド海外研修参加生徒アンケートの詳細は p 49 参照

ニュージーランド海外研修参加生徒アンケートの結果と考察

I 結果（アンケート項目への回答と分析）

質問1 海外への興味・関心がある。

	事 前	事 後
生徒A	とても当てはまる	とても当てはまる
生徒B	とても当てはまる	やや当てはまる

分析 海外への関心が高い生徒が応募していることが推察される。

質問2 海外に行くことへの不安はない。

	事 前	事 後
生徒A	当てはまらない	とても当てはまる
生徒B	やや当てはまる	やや当てはまる

分析 海外へ行くことの不安が軽減されることが推察される。

質問3 最終的には自分が行くことを決めた。

	事 前	事 後
生徒A	とても当てはまる	
生徒B	とても当てはまる	

分析 参加については教師、保護者の助言を受けながらも生徒自身が決めている。

質問4 将来海外に関わる仕事に就きたい。

	事 前	事 後
生徒A		とても当てはまる
生徒B		どちらとも言えない

分析 将來のキャリアと海外とを結びつけて志向する生徒が見られる。

質問5 学校の代表として行く意識がある。

	事 前	事 後
生徒A	とても当てはまる	とても当てはまる
生徒B	とても当てはまる	とても当てはまる

分析 参加生徒は学校の代表として参加しているという意識が高い。事前・事後学習での学びが浸透していることが推察される。

質問6 参加後は参加していない他の生徒へ体験したことを紹介したい。

	事 前	事 後
生徒A	やや当てはまる	とても当てはまる
生徒B	とても当てはまる	とても当てはまる

分析 実施後に成果を伝達したいという意識が肯定的に変容したことが示唆される。

質問7 今回、応募したきっかけについて最も当てはまるものを答えてください。(複数回答可)【事前】

生徒A	①先生からの推薦があった。⑨挑戦してみたいと思った。
生徒B	⑨挑戦してみたいと思った。⑦海外経験を積みたいと思った。①先生からの推薦があった。⑩研修内容に強く惹かれた；

分析 事前に「挑戦したい」という意識が共通して見られている。

質問8 今回、応募の決め手となった理由について当てはまるものを答えてください。(複数回答可)

【事前】

生徒A	①将来海外の大学に行きたいから。②海外で仕事したいから。③海外に行ってみかけたから。⑤海外の友人を作りたかったから。
生徒B	③海外に行ってみかけたから。④海外について知りたかったから。⑤海外の友人を作りたかったから。⑦先生に勧められたから。⑥ 家族に勧められたから。

分析 多様な要素から応募を決めていると推察される。

質問9 海外研修に参加することで期待していることについて答えてください。(複数回答可)【事前】

生徒A	②語学力を向上させたい。④自分の視野を広げたい。⑤国際的な人脈を築きたい。 ⑧自信をつけたい。⑦将来のキャリアに活かしたい。⑬その他（ご飯）
生徒B	⑧ 自信をつけたい。⑨ 挑戦してみたい。⑩ 海外生活を体験してみたい。 ⑪ 留学や海外勤務のきっかけにしたい。 ⑤国際的な人脈を築きたい。

分析 自身のキャリア形成に活かせるという期待が見られる。

質問10 これからニュージーランドへ出発します。海外研修に向けての抱負を記述してください。

記述したことについての理由も記述してください。(複数回答可)【事前】

生徒A	人脈を作つてどんな世界でも通用する人になっていきたいです。
生徒B	安全第一で勉強したい。

分析 自身のキャリア形成に活かせるという期待が見られる。

質問Ⅰ① 海外研修の参加を困難にする要素があつたら答えてください。(複数回答可)

	事 前	事 後
生徒A	③費用 ⑩海外に行くことへの不安	④英語力
生徒B	③費用 ②ホームステイの受け入れ ④英語力 ⑨パスポートの取得などの手続き ⑩海外に行くことへの不安;	③費用 ④英語力 ②ホームステイの受け入れ

分析 英語力を向上させていくこと、費用やホームステイの受け入れの支援が求められている。事前で海外へ行くことへの不安が挙げられていたが、事後には海外へ行くことへの不安がなくなっている。

質問Ⅰ② 海外研修に参加して当てはまることについて答えてください。(複数回答可)【事後】

生徒A	① 異文化理解を深めたい。②語学力を向上させたい。⑩海外生活を体験してみたい。⑪留学や海外勤務のきっかけにしたい。⑬その他（興味がかなりあった）
生徒B	④自分の視野を広げたい。⑤国際的な人脈を築きたい。⑥新しい価値観や考え方方に触れたい。⑦将来のキャリアに活かしたい。⑧自信をつけたい。⑨挑戦してみたい。⑩海外生活を体験してみたい。②語学力を向上させたい。①異文化理解を深めたい。③海外の仕事の進め方やビジネス習慣を学びたい。⑪ 留学や海外勤務のきっかけにしたい。

分析 英語力を向上させていくこと、費用やホームステイの受け入れの支援が求められている。

質問Ⅰ③ ニュージーランド海外研修で自分に変化があつたことや感想を記述してください。記述したことについての理由も記述してください。【事後】

生徒A	友達てきて良かった！
生徒B	海外のことについてさらに知りたくなった。 ニュージーランドに行って日本とは違う文化、食、生活について知れて良かった

分析 英語力を向上させていくこと、費用やホームステイの受け入れの支援が求められている。

2 考察

ニュージーランド短期海外研修の目的として、以下の3項目を設定して実施した。

- (1) 令和5年度に姉妹校締結を行った、ニュージーランドのグレイマウス高校において、現地の生徒とともに授業に参加することで、グローバルマインドの育成を図る。
- (2) ニュージーランドグレイマウス市の校外学習を通して、グレイマウス市の地域産業や、アボリジニの歴史、文化に触れる体験をすることで、国際的な視野をもった思考ができる人間性の育成をする。
- (3) 現地校の生徒や教職員、地域の方々へ日本の文化を紹介することを通して国際交流を行うことで、多様な価値観を理解し、自分の考えを表現できる力を育成する。

参加した生徒のアンケート結果から、目的を概ね達成できていると考えられる。今後、継続して実施することで、経年変化も見ながら成果を検証する。なお、生徒の英語力を向上させていくこと、費用やホームステイの受け入れの支援が求められていることについては、地域や同窓会の支援を得ながら、学校として対応を継続していきたい。

ニュージーランド海外研修関係者アンケート

地域自治体：ホームステイファミリーの紹介・受け入れなどご支援をいただきました。

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

とても素晴らしい企画だと思います。一人でも多くの生徒に、海外の同世代の方々と触れ合える機会を増やして頂ける事を期待します。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

予定がもっと早く且つ具体的に決まっていた方が、ホームステイファミリーの負担（気苦労）が軽減されると思います。

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

ホストファミリーの方から「とても良かった！」の感想を頂き、紹介した立場としても安堵しております。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

「なんでも経験！」「迷ったらやる！」「臆せず挑戦！」

ホームステイファミリー：グレイマウス高校の生徒1名を受け入れていただきました。

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

とても有意義な時間を過ごすことができました。家にいる家族にとっても、外国人と触れ合うことができ貴重な体験となりました。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

今回、祝日に留学生および先生方と1日時間を過ごすことができましたが、当初の予定ではその予定はなかったので、留学生と1日一緒に時間を過ごせる日があるとよいかと思いました。

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

海外の方とのやりとりも、英語を話せなくともなんとかコミュニケーションができることがわかりました。また日本人が当たり前と思っていることでも、海外の方にとってはどうしていいかわからないことも多いことがわかりました。たとえば、日本人にとっては神社に入ってお参りすることは当たり前でも、留学生や先生は神社に勝手に入ってはいけないと思っていたようでした。そういうこともうまく伝えていくことが大切だと感じました。常識の違いがあることを改めて実感しました。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

海外に向けて、外国の高校生と友達になれるチャンスです。10代のうちに、ぜひこの機会を活かしてください！

参加生徒保護者

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

ニュージーランドでのプログラムについてはふたん出来ない体験が出来て良かったと思います。ニュージーランドの学生が来た際のプログラムに関しては準備不足だと思いました。文化祭の準備で関わることがほとんど出来なかった。もう少し日本の文化に触れたプログラムがあるといいかと思います。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

ニュージーランドの学生が来た際の昼食が購買のパンだったと聞きましたが現地ではパンが主流だと思うので日本食を準備してあげた方が良かったと思う。休みの日の観光は全員参加で行った方がいい

と思う。学校行事と留学生を迎える日を合わせるのではなく授業体験や部活体験をした方が日本の学校生活を味わえると思う

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

特になし

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

海外に行くことでの視野が広がり価値観も変化します。普段体験できないことを体験し自分自身の成長に繋げて欲しいと思います。

多摩高校教員： 引率教員、国際交流委員、受け入れ側対応

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

とても有意義な時間をすごすことができました。どちらの国の生徒もかけがえのない時間を過ごしていましたので、その交流の懸け橋になれたことは、とても誇りに思います。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

プログラム自体の目的を、いかに全教職員に周知させるのかが、大切だと感じた。

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

国際化を自分事と感じ、外国の文化や自国の文化をより再認識する機会となり、また、多様性を理解するきっかけとなった。この自分自身の経験を生徒たちにも経験してほしい。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

ぜひ、少しでも興味がありましたら、挑戦してみてください。先生たちは全力でサポートします。

多摩高校教員： 引率、生徒受け入れクラス担任、国際交流委員会委員

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

一からプログラムの運営に携わっていたので、いろいろ迷うところはありましたが、まずはなんとか終わってよかったです。グレイマウス高校では、多くの授業に参加させていただいたので生徒にとっても学びが多くありました。英語を頑張ってみようという動機づけにはなっていると思います。現地ではホテルステイだったので、引率中は大変でした。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

できれば、生徒は現地ではホームステイをさせたほうがより学びになると思います。今回、こちらでホームステイを受け入れたところ、大変よい思い出ができたようなので、できればそうしたほうがいいと思います。

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

いい思い出ができたのではないかと思います。私も、出張で海外に行くこともなく、久しぶりの海外でとてもよかったです。多くの先生方と知り合うことができて、世界が少し広がったような気がします。海外の学校の授業に参加させていただくのも勉強になりました。私の英語学習へのモチベーションがあがりました。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

まず大前提として、このプログラムでは、遊びに行くのではありません。しかも、心がけ次第では、ただ遊んでいるだけにしかなりません。しかし、「英語をがんばる気持ちがあるなら、今、英語ができなくてもためになる」とは思いますし、遊んでいるだけにはならないと思います。海外の世界に一步踏み出す勇気は必要ですが、その一步で得られるものは多くあります。将来を考えるうえでも、一度海外に

行ってみるのはよいと思います。「どうすれば参加できるか分からないから」と一人で考えていても参加できないので、少しでも気持ちがあるなら先生方に相談してください。そして、もし行くことを決めてくれるのであれば、英語がてきて損することはないので、一緒に英語の勉強をがんばりましょう。

多摩高校教員：国際交流委員会委員

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

参加希望者がなかなか集まらなかったことが残念です。来年度は長期戦で生徒の関心を集め工夫が必要だと感じました。経済的な理由、ステイの受け入れに不安がある生徒が本校では多いため、その不安を解消してあげることも肝心だと思います。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

特にありません。引率の先生方、大変お疲れ様でした！

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

参加した生徒の感想を読んで、貴重な体験をもっと多くの生徒にさせたいと感じました。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

少しでも興味のある人は、説明会に参加して先生や先輩の話を聞いてください。

多摩高校教員

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

多摩高校の生徒、ニュージーランドの生徒が互いに刺激を受け楽しんでいる様子だった。

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

特ない

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

現段階では分からない。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

ニュージーランドに限らず異文化交流は勉強というより刺激になるので興味があればぜひ参加してみてください。

多摩高校職員：旅費の支給、お台場見学の補助員

1 プログラムについてのご感想を記述してください。

お台場の引率に同行させていただけて良い経験を積めました。情報伝達の観点からどうしても英語話者同士で固まって行動してしまうために、ホストファミリーを巻き込んだ海外交流という点では至らない点がありました。でも楽しかったです！

2 プログラムについて改善した方が良い点について記述してください。

来年はより早く旅費の支出業務に取り掛かりたいと思いました。来年度も計画を早めに定めて旅費担当との情報共有を密にしていただきますようお願いいたします。

3 プログラムの実施前と、実施後でご自身の中での変化がありましたら記述してください。

国際交流の楽しさを思い出しました。

4 これから参加を検討している生徒に向けてメッセージをお願いします。

海外交流経験は大人になってからもできますが、ホームステイや海外の同学年の生徒と友達になるチャンスは今しかありません。興味があるようでしたら是非参加してみてください！



グレイマウス高校の紹介

グレイマウス高校はニュージーランドのグレイマウス市にあります。全校生徒数は約600人程です。そして、9年生から13年生までの7学年制です。そして、グレイマウス高校は選択科目がとても多いです。来校者があるとマオリの歓迎の儀式が行われます。特色のある施設には、スケートボード場やジャングルジムがあります。音楽室には練習室が付設されており、ドラムやピアノがあります。また、テクノロジールームという日本でいう技術室があります。そこには、ハンマーやはさみはもちろん、溶接器具などもあります。



グレイマウス高校

研修の内容

7月30日（水）

- 午前中
・マオリの歓迎の儀式に参加しました。
・JasonとMarkに学校を案内してもらいました。
午後
・技術の授業で金属箱を作りました。
・家庭科の授業でマフィンを作りました。

7月31日（木）

- 午前中
・心理学の授業で「ストループ効果」に関する実験をしました。
・シャンティタウンで砂金採りをして、古い町並みを見学しました。
午後
・音楽の授業でピアノとウクレレを演奏しました。

8月1日（金）

- 午前中
・グレイマウス市長を表敬訪問しました。
・マオリ族と翡翠（ひすい）博物館を見学しました。
午後
・観光学（ツーリズム）の授業で有名な観光地のクイズをしました。

8月2日（土）

- 午前中
・農場に行き牧羊犬や鹿の角を見て、羊にえさやりをしました。
・ブナカイキでカヤックをしました。
午後
・パンケーキロックを見ました。パンケーキロックは、地層が浸食されてパンケーキのように見える岩です。



最も印象に残った体験

砂金採りです。なぜなら初めての体験だったからです。日本では体験したことがない採れた瞬間のうれしさがひとしおだったからです。ほかにも、家庭科での料理や羊の餌やり、カヤックなど様々な体験ができて、大変良い海外研修となりました。



左から、マフィン作り、シャンティタウン、翡翠博物館、パンケーキロック

終わりに

実際に行き、日本とは違う文化や食などを知ることができました。また、日本ではできない体験がたくさんありました。僕は将来海外で料理人となり、料理を届けたいと思いました。グレイマウスに行ってから言葉遣いや生活態度がより一層よくなつたと感じました。

謝辞

ご支援してくださった佐藤財団の皆様、多摩高校の先生方、お世話になったグレイマウス高校の皆さん本当に感謝しています。ありがとうございました。

参加を考えている人へ

少しでも興味がある人は失敗を恐れず挑戦してみてください。挑戦したら絶対行ってよかったなと思うはずです。



グレイマウス高校の紹介

グレイマウス高校はグレイマウス市にある大きなひ学校です。多摩高校と同じく1923(大正12年)に開校された歴史のあるの高校になります。グレイマウス高校にはクラスのような概念があまりなく、自分の受ける授業のクラスに各自で行きます。そしてグレイマウス高校ではマオリの儀式を行ったりします。日本にはあまりない、心理学などの授業もあります。



そして生徒の授業に対する自主性も高く、自ら課題に取り組む様子が見られます。グレイマウス高校では近くにバスケットボールのコートがあり、ほぼ毎日バスケットボールの試合が行われています。

研修の内容

研修中の一例(例1)

午前中

ホキティカのキウイ保護園見学

昼食

カフェで昼食

午後

ホキティカで登山

素晴らしい景色



↑ポロラリ川↓ホキティカ渓谷

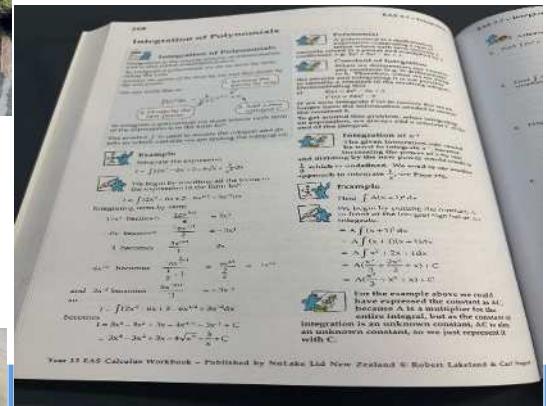


最も印象に残った体験

カヌー体験が最も印象に残りました。落ちるか落ちないかハラハラしたのが自分の中でとっても楽しかったのでものすごく印象に残りました。楽しかったです。またやりたいです。



↑キーウィ保護園



研修中の一例(例2)

午前中

1時間目 数学

2・3時間目 家庭科

4時間目 体育

昼食

学校で メニューはケバブ

午後

美術の授業参加

終わりに

自分から海外に行かないと、学べることも多くあると改めて気づきました。また、中学校の頃から英語が好きだったのでリスクニングに注力していたのですが、相手の言っていることが分かる喜びを得ました。

謝辞

グレイマウス高校の先生方ありがとうございました。特に技術の授業が特に楽しかったです。本当に感謝しています。

参加を考えている人へ

初めは不安だと思うけど生徒のみんながフレンドリーだからとっても毎日の学校が楽しい！少しの期間しかないから楽しむだけ楽しんでください！

東京都立多摩高等学校（全日制課程）

発行：東京都立多摩高等学校 国際交流委員会

〒198-0088 東京都青梅市裏宿町 580 番

TEL 0428-23-2151 (代)

FAX 0428-23-5581

<https://www.metro.ed.jp/tama-h/>

